

第28回神奈川大学全国高校生俳句大賞 最優秀賞/選者賞/入選作品リスト (筆ぐるめ33シリーズ)

No	賞名	高校	氏名	一句目	二句目	三句目
1	最優秀賞	松山西中等教育学校	松本 奈々	1-① 外界を歪ませているラムネ瓶	1-② 宇宙線浴びて素足のまま眠る	1-③ Gott ist tot驚音を入る
2	最優秀賞	水沢工業高等学校	小野寺 悠介	2-① 実習着汗にじむ中ガストーチ	2-② 弓ノコの金属切り裂く暑き夏	2-③ 鋼の刃旋盤に立つ夏の風
3	最優秀賞	開成高等学校	田中 煌人	3-① 平泳ぎからだ透きとほるやうな	3-② 鮭のぼるあをき光を零しつつ	3-③ 未来きつと怖くないからアイスクリーム
4	最優秀賞	名古屋高等学校	富田 輝	4-① 書くといふ自由不自由ばつたんこ	4-② やどかりや詩人は嘘をつく仕事	4-③ ことばがあるくひとはおきざりぼたんゆき
5	最優秀賞	水沢高等学校	中澤 美賀	5-① 津波後も寄居虫の走る走る	5-② 三月の浜波の形を忘れない	5-③ 八寸の木魚の音や蟬の殻
6	選者賞(恩田)	水沢高等学校	高野 晴	6-① 蜘蛛の巣に我が嫉妬が捕えられ	6-② 冬の雨自虐が胸に突き刺さり	6-③ 冬深し嫉妬が痰となりて出る
7	選者賞(神野)	横浜翠嵐高等学校	友安 睦	7-① 紫陽花の膨れて脳味噌のかたち	7-② 蕨紅葉ひとすぢ傷の塞がって	7-③ 眼球のぎしぎし鳴るや霜の夜
8	選者賞(長谷川)	洗足学園高等学校	森 有沙	8-① 番号を腕に彫られて冬の月	8-② 空腹を吸って霜夜の手のひかり	8-③ ガス室の床の冷たきしづけさに
9	選者賞(若井)	法政大学第二高等学校	鳥居 雄和	9-① 上り坂溶けては砥める水菓かな	9-② マンションの一角で死すカブトムシ	9-③ 春晴やかための襟が風を切る
10	入選	旭川実業高等学校	松橋 伶音	10-① スーパーの脇から伸びる青田道	10-② 花は葉に竹馬の友とすれ違ふ	10-③ 母親と娘隔てる心太
11	入選	旭川実業高等学校	吉田 暖和	11-① 本開く我が身を包む春の風	11-② 昼寝覚醒の本横にあり	11-③ 作文の書く手止まらぬ夏の雲
12	入選	旭川東高等学校	高橋 侑	12-① 春近く白湯飲む母を見送れり	12-② へその緒の茶の濃くなりし薄暑かな	12-③ 短日や両手に骨董の軽さ
13	入選	水沢高等学校	高野 晴	13-① 冬の朝頬骨硬き笑顔かな	13-② 冬晴や私は家族の異物です	13-③ 寒月や楽になりたくてひとり
14	入選	水沢高等学校	高橋 生楽	14-① 天牛の斑点僕の小宇宙	14-② やどかりの腹はぶによりと巻いており	14-③ フズリナの化石の欠けら戻り梅雨
15	入選	水沢高等学校	高橋 生楽	15-① 友の目に「嘘」の一字やツォダ水	15-② 生真面目な友の初恋夏燕	15-③ 蚊柱や今日は一人で帰る夕
16	入選	水沢高等学校	中澤 美賀	16-① 春晝や備中鯉の鯖びており	16-② 薄暑ありジョルジュ・スーアの点描画	16-③ 祖母の手の粉瘤檸檬握ぐはやさ
17	入選	水沢高等学校	中澤 美賀	17-① ほろ酔いの父へ無言のかき氷	17-② 豆飯や父と話が噛み合わない	17-③ 湯豆腐や父さこちなく我を褒め
18	入選	水沢高等学校	八幡 明日音	18-① 涙が零れるオリオン座は遠い	18-② 凍星へ言う母の夢われの夢	18-③ 深呼吸して星屑ゆる窓辺かな
19	入選	水沢高等学校	遠藤 佳花	19-① 消しかすの挟まる手紙水温む	19-② 陰口の声白濁の心太	19-③ 夜這星プロットは今脳の中
20	入選	水沢高等学校	高野 昊	20-① ミサンガの切れた先から春ささず	20-② かさぶたの取れて膝より秋となる	20-③ 黒塗りの姉のノートや枯木立
21	入選	仙台第三高等学校	安野 明里	21-① 氷菓子言いかけたことまだ口に	21-② 蝉しぐれ無音のサーブ一直線	21-③ 後輩の焦る背中に秋の風
22	入選	秋田北高等学校	田中 沙恵花	22-① スカートをたくし上げるや夏の海	22-② メロン切る君のまつ毛の煌めいて	22-③ 夏休み片道切符で会いに行く
23	入選	磐城高等学校	吉村 優菜	23-① 春の星ギブスに君の下手な文字	23-② 教室に入りたそな紋黄蝶	23-③ 制服のリボン忘れたいけれど虹
24	入選	茨城キリスト教学園高等学校	尾関 クララ	24-① 同性のきみの頬風ぐゆすうめ	24-② 向日葵のふちどる宙を生きにけり	24-③ いまさつき濡れたくちびる星月夜
25	入選	下館第一高等学校	横塚 ひばり	25-① 纏足の少女に見せるための蜘蛛	25-② 手相では素直と言はれ猫柳	25-③ やどかりになって二日目のだらう
26	入選	下館第一高等学校	横塚 ひばり	26-① 唐揚げのパセリの似合ふ男なり	26-② みかんの剥き方に思想が出ているよ	26-③ 銀河系はなれてクリスマス街
27	入選	高崎高等学校	木村 陽翔	27-① ビー玉に気泡入ってある冬日	27-② 柊の花や南京錠重く	27-③ 霜月や底にココアの溶け残り
28	入選	高崎女子高等学校	堺 風歌	28-① 黒髪を梳かす左手遅桜	28-② 遠足の知らぬ漢字に出会ひけり	28-③ 古本にテープの跡や青写真
29	入選	高崎女子高等学校	黛 知花	29-① 先生の噂話に蜂通る	29-② 生命線の伸びた気がして春の星	29-③ 三月の机に足を絡めけり
30	入選	東京農業大学第二高等学校	櫻井 たま子	30-① 縁側に滴るラムネ汗の粒	30-② スクロール宇宙に届く夏休み	30-③ 夏痒く引く掻く腕の赤みかな
31	入選	淑徳与野高等学校	高橋 未来	31-① 星月夜電子書籍の「山月記」	31-② 徒然に叛くちびる檸檬はむ	31-③ 夜鳥の目に喧騒と冴ゆる月
32	入選	淑徳与野高等学校	高橋 未来	32-① 単語帳めくるリズムと薫風と	32-② 卒業や北斎ブルーの染み淡し	32-③ 春愁や踊り場の影度低し
33	入選	芝浦工業大学柏高等学校	小河 祐晴	33-① 打ち水に影ほぐれゆく午後一時	33-② 西瓜割り笑い声ごと海へ飛ぶ	33-③ 蝉しぐれ眠気の底に木々の音
34	入選	海城高等学校	小平 怜央	34-① 冬晴れや雲となりゆく我の息	34-② クリスマスカバむ右手ポケットに	34-③ 雪だるま流るる涙のあどけなさ
35	入選	海城高等学校	土谷 海理	35-① 秋水の湖だから歩けそう	35-② 向こうから鳩こちらからは色鳥	35-③ 星月夜立体駐車場満車
36	入選	開成高等学校	田中 仁	36-① 弟のつむじひねくれ冷房車	36-② 冷房はやさしくて蜘蛛住ませけり	36-③ 冷房の外に眠りて曾祖父母
37	入選	開成高等学校	原島 奏	37-① 水中に百円ひかる夜店かな	37-② 荒海や神在月の子どもたち	37-③ 麵冷やす水うつくしき西行忌
38	入選	開成高等学校	原島 奏	38-① ハンモック僕は風の子ではないが	38-② 新涼のざらついてみる技術室	38-③ 彗星の来てみる無音大花野
39	入選	東京家政学院高等学校	金子 知紗	39-① ウィークエンドシトロンゆふやけに溶けてをり	39-② 18で死にたいと言ふ良夜かな	39-③ 地球ごと冬三日月に刺されさう
40	入選	東京家政学院高等学校	林 千乃	40-① 寝て薄く兄貴の夢や星月夜	40-② ぜったいにあなかげうどん後の月	40-③ 鳥渡るシーザーサラダとはやさし
41	入選	目黒学院高等学校	井堀 健琉	41-① 新学期僕の制服まだ固い	41-② 名を呼ばれ少ドキリと新芽かな	41-③ 参考書開くが閉じて春眠す
42	入選	県立川崎高等学校	山本 美花	42-① 木枯しや逆さにならぬ逆ごま	42-② 寒空や均一棚の文庫本	42-③ 隣へ帰る猫ふてぶてし春うらら
43	入選	関東学院高等学校	村木 蓮	43-① 譜面越し目と目が合いし蝉しぐれ	43-② 休符にも絆を感じる夏合宿	43-③ ひまわりが明るく見上げる夢の果て
44	入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	泉 祐司	44-① 初蝉やかばんに腐るお弁当	44-② 路線図をなぞる友の手夏来たる	44-③ 新緑のくすぐったくて球拾ひ
45	入選	慶應義塾湘南藤沢高等部	柳井 仁	45-① 春宵やジャズピアノ微かに聞こゆ	45-② 夕風を静かに揺らすコントラバス	45-③ 夏深しパイプオルガンの余韻
46	入選	洗足学園高等学校	森 有沙	46-① フルートに空の映りて風光る	46-② 長靴のゴムの匂ひの暑さ来し	46-③ 空腹な獣の黙や花は葉に
47	入選	洗足学園高等学校	下平 佳夏子	47-① 春星やうたゝ寝の手にヴァイオリン	47-② フルートの歌口の金涼新た	47-③ オペラ座の天井まるく寒の入り
48	入選	洗足学園高等学校	長谷川 実奈	48-① 花東のくびれにリボン風光る	48-② たつぷりと夜明の雲や紅躑躅	48-③ 葉桜やホースの水のこま切れて
49	入選	横浜翠嵐高等学校	清水 風希	49-① 遠足の時計係の五分ごと	49-② かくれんぼつつじの裏をまづ探す	49-③ 二人とも片側に乗りオキザリス
50	入選	横浜翠嵐高等学校	中山 一詩	50-① 踏切に立たば青田がみぎひだり	50-② 遠足や点呼のたびに消ゆる子ら	50-③ いつまでも出てきさうなる心太
51	入選	横浜翠嵐高等学校	吉岡 心晴	51-① よせてかへして寄居虫は抜け殻に	51-② 手花火のじゆうつと崩れ沈みけり	51-③ ぱつぱつと死めまて蝸だつたもの
52	入選	横浜翠嵐高等学校	友安 睦	52-① 冬日和髪のおすぢまで見てしまふ	52-② 春一番たつた一行の手紙	52-③ 春暑し恋の叶つてひやうしぬけ
53	入選	横浜翠嵐高等学校	那住 悠太	53-① 天牛や籠より髭の飛び出たる	53-② 秋扇に閉じ難き骨ありにけり	53-③ 冬の水激げば口の熱さかな
54	入選	横浜翠嵐高等学校	福村 紗矢	54-① 梅雨曇端から端へ裁鉄	54-② よそゆきを隠してしまふ青田かな	54-③ 背泳ぎの白雲を過ぎ旗を過ぎ
55	入選	横浜隼人高等学校	石崎 成人	55-① アロワナの消えし水槽冬の月	55-② ひそやかな電球の音クリスマス	55-③ 冬深し眠る姿で場逝きぬ
56	入選	鶯谷高等学校	グリンニク・ソフィー	56-① イヤホンをはづせば新涼の窓辺	56-② バス停の数字隠せる蕨紅葉	56-③ 大青田ドローンの風のさざめきて
57	入選	鶯谷高等学校	平木 陽翔	57-① ガムランの星震はせて涼新た	57-② ぶらんこの背中に母の掌の記憶	57-③ ぎゅうぎゅうと秋思の母へ握飯
58	入選	静岡農業高等学校	杉浦 颯亮	58-① 水の声ひとりで鳴いている星の蟬	58-② 花夜夢から帰る舟に似て	58-③ 若葉風囁き運ぶ川の音
59	入選	浜松修学舎高等学校	李 韻涵	59-① 朝霧に音なく沈む吊り橋よ	59-② 石ひとつ動かぬままの秋の水	59-③ 返事なき風にちぎれる便りかな
60	入選	名古屋高等学校	福田 匠翔	60-① スカートの二人に広き青田かな	60-② ヴァイオリン背負ふ子どもや花は葉に	60-③ 鶺鴒や水に透けたる水の影
61	入選	名古屋高等学校	東野 礼豊	61-① 雲梯が背より低くて花曇	61-② 行く夏のベッドを占むる七並べ	61-③ エレベーターに乗っても月の話して
62	入選	京都共栄学園高等学校	神田 恭志	62-① やどかりや炎はみづの色をして	62-② 深淵を覗く大天牛がある	62-③ 神木にやはらかな熱黄鶺鴒
63	入選	京都共栄学園高等学校	水谷 寛太	63-① 耳たぶのひんやりとして八朔柑	63-② 息止めて誘蛾灯から誘蛾灯	63-③ 瘡蓋の薄さに触れて花八手
64	入選	関西大学第一高等学校	西森 結海	64-① 終電のホームにかかるオリオン座	64-② 秋雷や目次で閉じたミステリー	64-③ カシオペア家路静かに導いて
65	入選	智辯学園和歌山高等学校	三木 陽菜子	65-① 冬鳥やフェンスを一マスずつ渡る	65-② 祖母の家へ雪うさぎの目採りにいく	65-③ 紅葉散る明日があるとも知らないで
66	入選	岡山朝日高等学校	平野 直太郎	66-① 冷蔵庫ひらきて小言聞き流す	66-② 船虫を散らせる叔父の黒き足	66-③ 生家無き故郷に住まむ百日紅
67	入選	尾道高等学校	福重 憂愛	67-① 初弓射花火のごとく響きけり	67-② なんとまああなたに似てる夏の雲	67-③ 行く春や君の瞳に我はなし
68	入選	徳山高等学校	堀澤 明香里	68-① 進路課の教師私服のアロハシャツ	68-② 教師とてかき氷食ふ三年目	68-③ 愛称のある教師こそ海月かも
69	入選	済美平成中等教育学校	小原 杏菜	69-① 信号のみじかき坂や青嵐	69-② 関節をひとつ鳴らしてあいすくりん	69-③ 日焼け子にゆつたりと髪撫みしあと
70	入選	松山東高等学校	山本 恭児	70-① 星月夜百科事典の革赤し	70-② 果樹園へなだれ込みたる天の川	70-③ 星飛んで蛸壺百個鎮まれり
71	入選	松山東高等学校	山本 恭児	71-① 海峡へ降りる鎖や鬼薊	71-② 秋澄むや瓦眩しき漁師町	71-③ 潮騒の只中鳥の待合所
72	入選	昭和薬科大学附属高等学校	宮城 未徠	72-① 脈々と足跡続く夢の島	72-② 夏が過ぎ空に広がるうろこ雲	72-③ 夕焼と一緒に終わる部活動
73	入選	読谷高等学校	當山 大和	73-① 真夏日に響く号令友と駆く	73-② 吐く息の白さに気づく朝の道	73-③ 春光や鍵ひとつ持ち旅立ちぬ

【リスト活用方法】①筆ぐるめ33シリーズを立ち上げ、「うら(レイアウト)」タブをクリック後、「イラスト」ボタンをクリックしてください。
 ②画面左側のイラストグループ内「神奈川大学全国高校生俳句大賞」フォルダをクリックしてください。
 ③「第28回作品」または「第28回作品(俳句のみ)」グループをクリックしてください。
 ④各サムネイル画像の下に「賞名+番号+○番号」(例:最優秀賞1-①)が表示されています。
 ⑤ご使用になりたい俳句の「賞名」+「番号+○番号」を本リストよりご確認いただきご利用ください。